

各課題の成果・取組と今後の対応について

2014/12/1

経済産業省

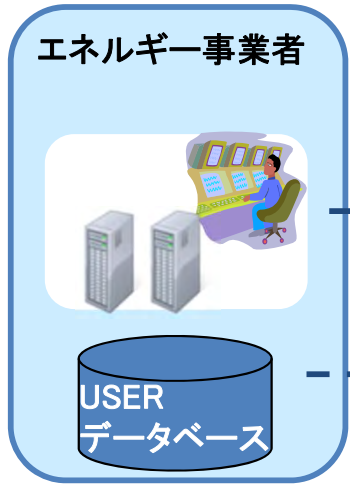
早稲田大学

神奈川工科大学

慶應義塾大学SFC研究所

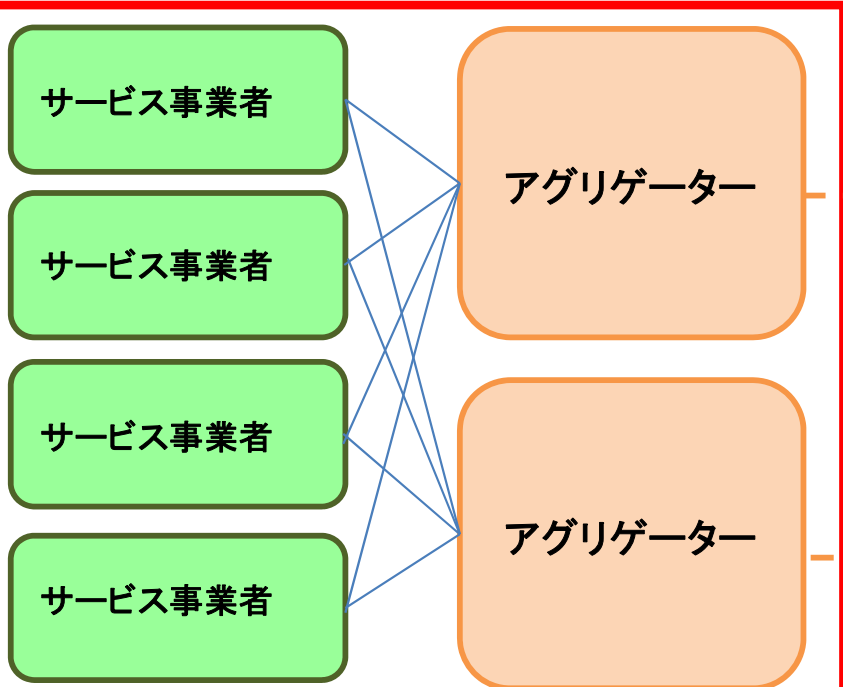
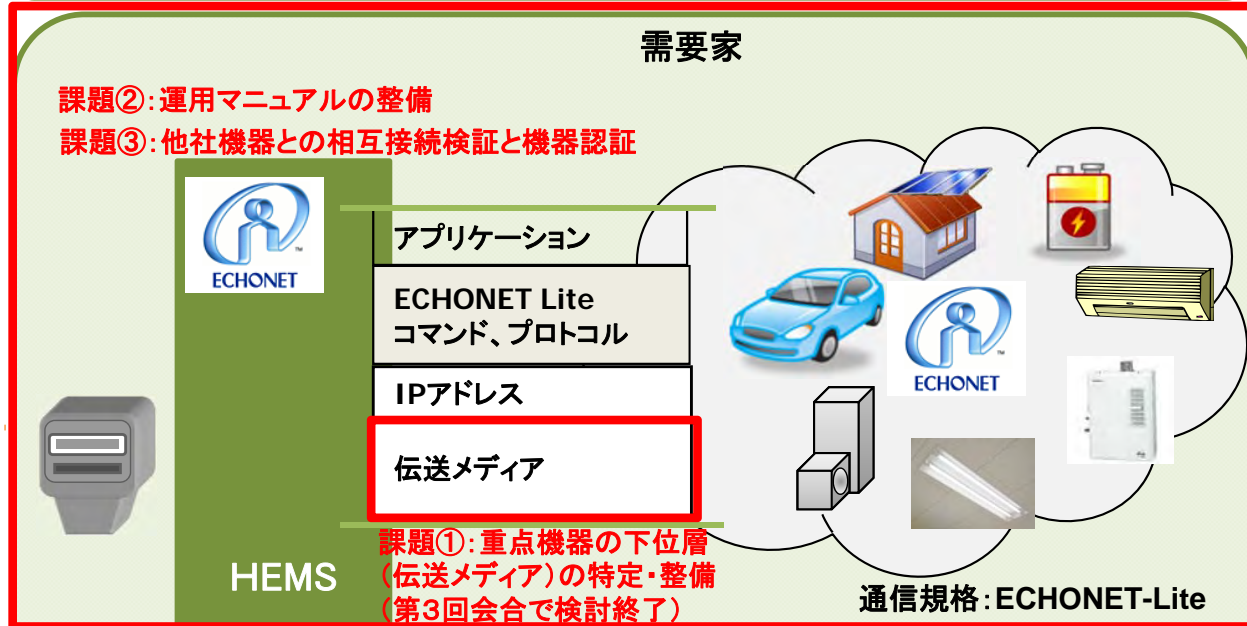
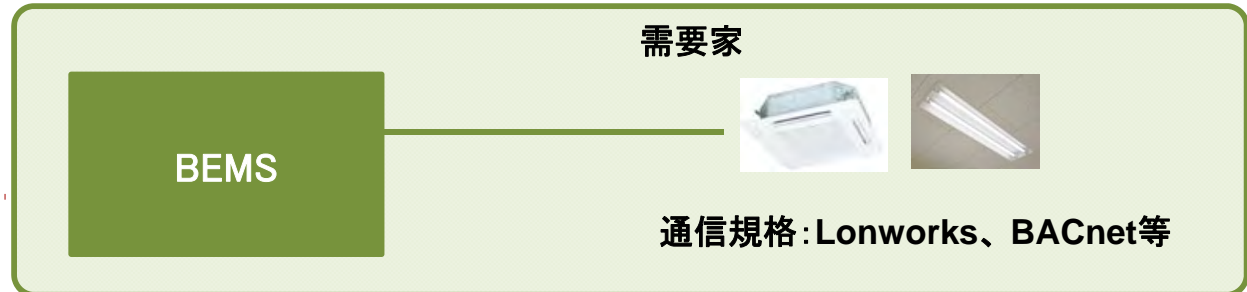
エネルギー総合工学研究所

スマートハウス・ビル市場普及拡大に向けた相互接続性に係る課題の整理

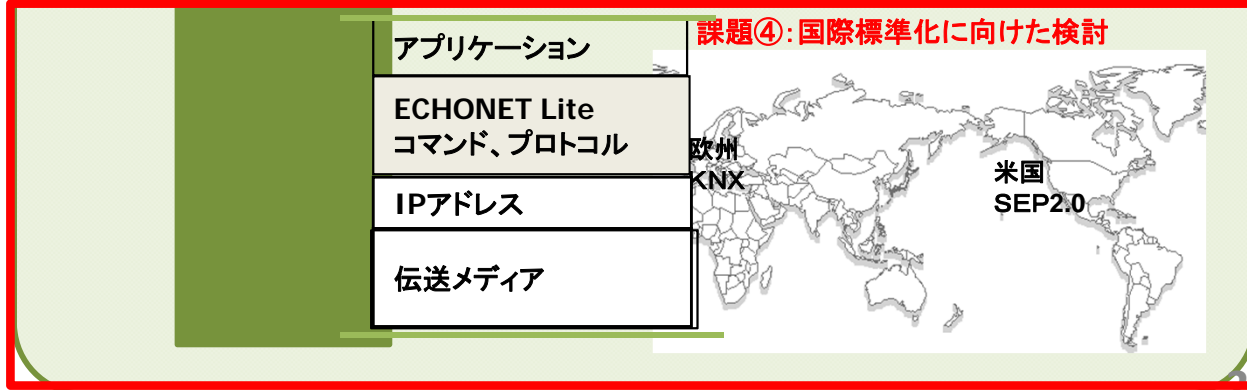


課題⑤:
DR技術・標準の調査・研究

DR
システム



課題⑥: HEMSデータを利活用した事業促進に向けた検討



各課題の成果・取組と今後の進め方

課題②運用マニュアルの整備

前回の検討会において取り組むとしていた事項

○重点8機器からスマートメーターを除いた7機器について、業界団体とエコネットコンソーシアムが連携をし、随時、仕様書策定・見直し作業を進める。

成果・取組

- 低圧Bルート運用ガイドライン改訂版(1.0版⇒2.0版)を策定。
- HEMS-照明 運用ガイドライン改訂版(1.1版⇒1.2版)を策定。
- 7機器のアプリケーション通信インタフェース仕様書及び試験仕様書(以下、「両仕様書」という。)を業界団体及びエコネットコンソーシアムと連携し、仕様書案及び試験仕様書案(一部検討中)を策定。現在、エコネットコンソーシアムにてレビュー中。

今後の対応

- 両仕様書については、エコネットコンソーシアム標準として来年の早い時期に公開。
- その他、新製品の登場に伴う新しいECHONET Liteクラスの追加及び仕様の変更等に合わせ、適宜、両仕様書及びガイドラインの変更を検討。

課題③他社機器との相互接続検証と機器認証

前回の検討会において取り組むとしていた事項

- 中小企業等に対する支援業務を継続すると共に、自立化について認証業務、認証テスト仕様の外部ライセンス化を軸に検討を進める。

成果・取組

- HEMS認証支援センターにてSMA認証(東京電力、中部電力)及び通信メディア認証(Wi-SUN)を開始。
- 中小企業への支援として、ECHONET Liteサービス開発を容易にするソフトウェアを認証支援センターより提供することを決定。現在、開発を実施中。
- 自立化については、来年4月からの開始に向けて、認証業務、認証テスト仕様の外部ライセンス化を軸に引き続き検討中。

今後の対応

- ソフトウェアについて本年度中に公開頒布するなど、引き続き、中小企業等に対する支援業務を継続。
- 自立化については、来年3月を目途に成案を得るべく、具体策の検討を継続。

課題④国際標準化に向けた検討

前回の検討会において取り組むとしていた事項

- 海外認証拠点や会員企業の増加など、エコネットコンソーシアムの海外展開を継続し、ECHONET Liteの普及拡大に努める。

成果・取組

- 海外認証拠点や会員企業の増加については、本年8月以降、マレーシアを拠点に海外拠点における制御ソフトウェア認証開始に向けた技術移転を開始。同国文部科学省の外郭機関から協力を得つつ広報イベントを実施する等、現地企業を勧誘中。
- 国際標準化については、ISO/IEC JTC 1/SC 25にて標準化活動を実施中。追加の標準化活動が最終段階(FDIS/Final Draft International Standard)にある。

今後の対応

- 引き続き、海外認証拠点の運営支援及び会員企業増加のための活動など、エコネットコンソーシアムの海外展開を継続し、ECHONET-Liteの普及拡大に努める。

課題⑤ DR技術・標準の調査研究

前回の検討会において取り組むとしていた事項

- 本年上期にスマートメーターを新宿実証センターに設置。
- 全電力会社ならびにMEMSアグリゲータの参画も得て新宿実証センターにて日本版ADR実証を今夏より実施。
- DRインターフェース仕様書1.1 α 版での実証ならびに手法について検討実施。(必要に応じて手法を改訂)

成果・取組

- 本年6月、スマートメーターを新宿実証センターに設置。
- 本年11月、全電力会社ならびにMEMSアグリゲータの参画を得て、新宿実証センターにて、日本版ADR実証を開始。
- 実証と連携しつつ、DRインターフェース仕様書1.1版策定に向けて、修正が必要な点を精査中。また、直接負荷制御など未検討のユースケース試験や外部の実践的DR協働実証試験を実施。

今後の対応

- 平成27年度初頭を目途に、DRインターフェース仕様書1.1版を策定。

課題⑥ HEMS データ を利活用した事業促進に向けた検討

前回の検討会において取り組むとしていた事項

○API標準化、プライバシーマニュアル整備に関しては、大規模HEMS情報基盤整備事業(以下、「整備事業」という。)と連携し、具体化を進める。

成果・取組

- 本年9月から、整備事業が開始。
- 情報基盤の標準化等については、平成27年度末を目途に、整備事業と連携しながら、API、データ処理やセキュリティ等について検討する方針で合意。
- プライバシーについても、平成27年度末を目途に、整備事業と連携しながら、「HEMSデータ利用サービス市場におけるデータ取扱マニュアルα版」の改定を行う方針で合意。

今後の対応

○引き続き、上記方針に基づいて、APIを含む情報基盤の標準化等及びプライバシーマニュアル整備について具体化を進める。